

平成26年第4回（8月）瀬戸内市議会定例会

教育委員会行政報告

市長の一般行政報告に引き続き、教育委員会から行政報告をいたします。

邑久高等学校ヨット部の^{おかたけりょうや}岡竹諒也君（長船中学校出身）、^{やまもこうき}山本皓貴君（牛窓中学校出身）の2名がヨットの国際大会「2014ヨーロッパ選手権大会イタリア大会・国際FJ級」に出場しました。大会は2014年7月20日（日）から7月29日（火）の期間、イタリア共和国のサンタクロチェ湖で開催され、世界各国から強豪選手が集まる中、見事優勝しました。

これはまさしく快挙であり、このことを讃えるべく、セーリング関係の団体と連携して懸垂幕を庁舎に掲げています。

以上を申し上げ、行政報告に移らせていただきます。

○ 新図書館整備について

新図書館整備工事に係る入札は、去る5月27日に公告し、6月19日に実施しましたが、誠に残念ながら不調となってしまいました。

教育委員会において、不調となった原因について調査、分析をしたところ、昨年設計着手時期から今般の入札時期までに、建設物価が概ね10%程度上昇したことが直接的な原因であることが判明しました。

予想以上のスピードと比率で、資材や人件費の高騰が進んでおり、結

果として落札に至らなかったことについて、一日も早い開館を待ち望む市民の皆様に、心からお詫びを申し上げる次第です。

これまでの市民や議員の皆様のご議論を踏まえた新図書館整備が、一日も早く実現できるよう、再入札に向けて、設計変更のための委託料と、工事請負費の増額の補正予算を計上しています。議員の皆様にはご審議いただき、ぜひともお認めいただきますようお願い申し上げます。

○ 瀬戸内市立幼稚園保育料免除規則の一部改正について

平成26年度になり、国の子育て支援施策の一つである幼稚園就園奨励費補助事業において、保護者に対する保育料の負担軽減を図るため、幼稚園入園時における多子世帯の所得制限を撤廃し、補助対象とする改正が行われました。本市においても、子育て支援施策の一環として、この補助事業に沿い、瀬戸内市立幼稚園保育料減免規則の一部改正が教育委員会会議において承認され、新たな減免制度を実施しています。この改正等について、議会の皆様へのご報告が遅くなりましたことをお詫び申し上げます。

具体的には、小学校1年から3年生までの姉・兄を有する場合、最年長者の保育料を半額減免し、同時に入園している最年長者以外の保育料を全額減免します。また、小学校1年から3年生までの姉・兄がいない場合、同時に入園している第2子の保育料を半額減免し、第3子以降の保育料を全額減免するものです。

この改正による、歳入減については、平成27年2月議会で補正予算を計上させていただく予定です。

○ 教育情報機器整備事業について

夏季休業中を中心に市内小中学校のICT教育環境の整備を進めました。また、教職員を対象に教育委員会主催のICT活用研修も3日間実施しました。2学期から新しいICT教育機器の活用が順次スタートします。来年度以降の本格的な活用に向け、引き続き活用研修や準備を進めていきます。

○ 学力・学習状況調査について

平成26年度の「岡山県学力・学習状況調査」の結果及び市独自の「学力・学習状況調査」の結果について概要をお知らせします。

岡山県の学力・学習状況調査は、昨年度に引き続き中学校1年生を対象に4月に実施されました。国語、数学、理科、社会の4教科のうち、国語と理科及び4教科合計については県の平均正答率を上回る結果になりました。

市独自の学力・学習状況調査は、小学校4年生・5年生と中学校2年生を対象に4月に実施しました。国語と算数(数学)の2教科で実施し、小学校4年生・5年生と中学校2年生は、いずれも目標値と同等という結果になりました。

本年度の結果から、学習面での課題としては、書く力が不足していること、教科への関心・意欲・態度の数値が目標とする水準に至っていないことです。

生活面での課題としては、特に家庭でテレビを見たりゲームをしたりする時間が長いこと、学習した内容について、家で自分なりに整理したり、より深く調べたりする児童生徒の割合が低いことです。

今後も、児童生徒の学力面と生活面の課題を的確に捉え、引き続き各学校の実情に応じた取り組みを進めていきます。本年度は体験型授業をさらに拡充するなどして教師の授業力と児童生徒の学習意欲を一層向上させることを目指していきます。

○ 学校施設の耐震化について

邑久中学校・長船中学校の武道場の構造体における耐震診断を実施した結果、邑久中学校武道場については、耐震基準を上回っていますが、長船中学校武道場について耐震基準の数値を下回る見込みとなり、早急に耐震化を図る必要があります。また、非構造部材の耐震化において、牛窓東小学校体育館の天井仕上材等を撤去する工事が必要となっています。このため、平成27年度に耐震工事を実施することとし、実施設計費用を補正予算に計上してまいりますのでよろしくお願いいたします。

○ 備前長船刀剣博物館の特別展について

備前長船刀剣博物館では平成23年度から毎年夏休み期間に合わせて若者向けの刀剣展を開催しています。今年も7月12日から9月15日まで、「戦国無双の刀剣展」を開催しています。若者を中心とした来館者で賑わっており、日本刀への興味、関心を引く展示となっています。

この後、10月19日からは特別展「第9回お守り刀展覧会」の開催を予定しています。昨年に引き続き、今回も「文部科学大臣賞」や「ポーランド共和国大使賞」の授与も決定し、国内外から展覧会を評価いただいています。

○ 瀬戸内市立美術館の企画展について

7月26日から8月31日にかけて、夏休み企画「絵と遊ぼう！トリックアート展」を開催中です。絵の前で写真を撮ると、あたかも自分が絵の空間に入り込んだような不思議な写真が撮れるトリックアート作品を紹介し、家族や友人、あるいは来館者と美術館スタッフが、絵の前で楽しく声を掛け合いながら写真を撮る姿が多く見受けられ、美術館が交流の場として親しみやすい存在であることを知ってもらう機会となっています。

9月2日から9月15日までは「リバイバル 服部コレクションで振り返るJAPAN牛窓国際芸術祭」を開催します。1984年から1992年まで国内外からの作家を招聘して行なわれていたJAPAN牛窓国際芸術祭の価値を再考し、当時のアーカイブ資料や再現作品などを紹介する予定です。

○ 公民館等を中心とした社会教育活性化支援プログラム事業について

公民館では2つの文部科学省委託事業を昨年度に引き続き実施します。

1つ目の事業は地域の防災拠点形成支援事業で、牛窓町公民館を拠点に地域の防災リーダー育成や地区防災マニュアルの作成を通じて地域力の向上を図るものです。

2つ目の事業は教育的資源を活用した地域課題解決支援事業で、「地域デジタルガイドマップ」を作成するワークショップや講演会の開催を通じて、市民が地域の魅力を再発見するとともに、成果を発信することにより地域の魅力を発信するものです。

これらの取り組みを通じて地域コミュニティの再生や活性化を図って

いきたいと考えています。

以上をもって、教育委員会の行政報告とさせていただきます。

平成26年8月29日

瀬戸内市教育委員会

教育長 藤原 一成